

プラスワンメールマガジン

第10号 平成22年5月21日

皆さんこんにちは。第10号のプラスワンメールマガジンをお届けします！
皆さんも新年度から早1ヶ月が過ぎ、新しい環境にやっと慣れてきたところでしょうか。また、今年のゴールデンウィークは、いかがお過ごしでしたか？
ゴールデンウィーク期間中、快晴が続き、家族サービスされた方々もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。日頃、お仕事でお忙しい中、家族や知人とのコミュニケーションをとる、貴重な時間を過ごされたことでしょうか。

さて、昨年度に佐賀県のCSOのためのWEBサイト『CSOポータル：
<http://www.cso-portal.net/>』がリニューアルされて随時情報を更新中ですが、
『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメール配信）』からも随時、CSO活動
をされている方々のお役に立てるような情報を発信しております。

これは、WEBを見にいかなくても、身近な携帯電話やパソコンに、CSO等
にとって有益な情報がタイムリーにメール配信されますので、情報収集の迅速
性が魅力です。

「CSO@123123.tv」に空メールを送っていただければ、簡単に登録作業を行
えますし、不要となれば簡単に解約も可能ですので、まずは、お気軽に試して
みてください。

これからも『プラスワンメールマガジン』を筆頭に『CSOポータル』
『CSO・ボランティアネット』をご愛顧いただきますよう、よろしくお願いい
たします。

- 第 10 号** 【1】プラスワンコラム！ ～宮地さんの巻～
【2】なるほどボランティア！
も く じ ～これからの日本でも注目！「プロボノ」とは！？～
【3】プラスワン体験記！ ～東与賀ボランティアの友の巻～
【4】プラスワン活動拠点のご紹介！～呼子町エリアの巻～

- 【1】プラスワンコラム！ ～プラスワン運動に携わる思い～**
『地域で楽しく暮らせる福祉のまちづくりを目指して！』
福祉ネットワーク「マイライフ」 代表 宮地 佳保里

平成21年度から地域いきいき！さが・ふれあい基金（佐賀県地域福祉振興基金）により、「地域ぐるみで福祉の推進」事業に採択された「マイライフ」では、福祉の社会資源の現状を調査・研究し、さらに有効に活用されるための事業を行うことで、高齢者や障がいをもつ人が、地域で楽しく暮らせる福祉のまちづくりの実現を図ることを活動目的としています。

そのため、平成21年度「地域ぐるみで福祉の推進」事業では、鳥栖市旭地区の福祉事業所や医療機関、バリアフリー施設等にご協力をいただき、地区の方々に分かりやすく、利用しやすいよう施設案内を冊子にまとめ、無料で配布したり、また、WEB上での情報公開もしています（施設情報だけでなく、福祉のまちづくりを応援する「人」の紹介も行っています！）

これからも鳥栖地区に住む高齢者や障がいをもつ人たちが、快適に暮らせる福祉のまちづくりのために、さらに市民に寄り添える活動を続けていきたいと思っています。

詳しい情報は、福祉ネットワーク「マイライフ」のホームページ
<http://mylife-tosu.com/> をご覧ください。

【2】なるほどボランティア！～県社協からのワンポイントレッスン～ これからの日本でも注目！「プロボノ」とは！？

「プロボノ」をご存知ですか？

「プロボノ」とは、仕事上で培った知識やスキル・ノウハウなどを活かして社会貢献することを言います。

もともとラテン語の「Pro Bono Publico」（公共善のために）を略した言葉で、主に弁護士や税理士など資格を有した人たちが、その知識などを活かして社会貢献する意味でしたが、近年では、そうした職種に限らず、様々な企業や事業所など幅広い分野で培った社会人のスキルを活かして、地域活動やNPO活動を支援する取り組みが、海外を中心に行われています。

お金による寄付や、時間によるボランティア活動のほか、「プロボノ」としての知識やスキル（技能別）の提供といった社会人の社会貢献活動（ボランティア活動）が、これからの日本でも注目されています。

【3】プラスワン体験記 ～できることから始めてみませんか？～ 『福祉施設を訪問し“和みのひと時”をお届けしたい』 喫茶ボランティア「和み」 代表 林 恵實子

平成15年、伊万里市ボランティア連絡協議会の事業として、何か新しいことをやってみようという声から始まりました。活動の目的は、福祉施設を利用されている方々に、いつもと違う「喫茶店」の雰囲気味わっていただき、“和みのひと時”を過ごしていただくことです。

内容としては、ボランティア手作りのケーキなどを用意して、福祉施設を訪問し「喫茶店」を開きます。喫茶店では、テーブルクロスや季節の花などテーブルコーディネートも工夫して（コーヒーカップは、大川内山の窯元から寄贈していただきました！）和やかな雰囲気づくり、そしてメニューは、コーヒー・紅茶・抹茶と笑顔でおもてなしをします。

平成18年度までは、市ボランティア連絡協議会の事業として活動していましたが、現在は、ボランティアグループとして、12名のメンバーで活動しています。

「ありがとう。また来てね。」の言葉と嬉しそうな笑顔をお客様にいただきながら、これからも楽しく活動を続けていきたいと思っています。

【お問い合わせ先】

伊万里市社会福祉協議会ボランティアセンター 電話0955-22-3931

【4】プラスワン活動拠点のご紹介！～発見！あなたの街の活動拠点～ 『呼子町に賑わいと触れ合いを！』

スクラム
特定非営利活動法人SCRUM呼子 事務局長 宅井 文雄

海だ！祭りだ！熱き心でまちづくり...をスローガンに、「NPO 法人スクラムSCRUM呼子」は呼子町の商店街活性化と観光浮揚のためのまちづくりに頑張っています。

また、CSO支援活動において、町内の各組織と連携しながら、全国ブランドの「呼子イカ」と「呼子朝市」をさらに全国に発信して、観光客の誘客拡大を目指しています。

今年度の主な事業として、唐津市から「地域商店街活性化方策検討事業」の補助を受けて、「ケンちゃん・サキちゃん」のゆるキャラを新たに作製し、町の賑わい創出へ向けて会員一丸となって活動します。

活動拠点として、呼子朝市通りに呼子情報ステーション「スクラムSCRUM広場」を開設し、朝市や観光のお客様にトイレを開放、CSO支援組織が会議などに利用するスペースを設けており、昨年度の年間来場者数が、13,216名を記録しました。

楽しいお買い物「呼子朝市」へおいでの際は、お気軽にお立ち寄りください。

詳しい情報は、NPO 法人スクラムSCRUM呼子のホームページ
<http://www.scrum-yobuko.com/> をご覧下さい。

【お問い合わせ先】

スクラム
NPO 法人 S C R U M 呼子

〒847-0303

唐津市呼子町呼子3764 - 74

TEL 0955 - 82 - 0678

FAX 0955 - 82 - 0679

E-mail hiroba@scrum-yobuko.com



.....

本メールマガジンは、登録申請された方はもとより、当課職員が名刺交換の際に受信の了承をされた方々等に配信させていただいております。また、本メールマガジンについては、プラスワン活動の推進を目的に発行しておりますので、当課の事前了承（著作権使用許諾）がなく転載・転送されても結構です。

なお、本メールマガジンの配信がご不要になられた方はお手数ですが、配信停止のご連絡をお願いいたします。

注) プラスワン運動とは：

仕事や家庭のほかにもうひとつ社会的役割を持ちましょう！と佐賀県が進めている、いわゆるボランティア推進のための運動です。

注) CSOとは：

Civil Society Organizations（市民社会組織）の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体（以上志縁組織）に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTA（以上地縁組織）といった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

.....

発行責任者

佐賀県男女参画・県民協働課 課長 稲富 正人

編集担当

佐賀県男女参画・県民協働課

CSO活動支援担当 係長 山田 博則

CSO活動支援担当 嶋本 悟司

danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp

TEL:0952-25-7374

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

まちづくり課 野添 大介

TEL:0952-23-2145